

那須中央中学「マイチャレンジ」を実施 ～ 鳴内山で行進・偽装体験～



行進体験の様子



行進体験終了後、記念撮影
充実感あふれる学生たち

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、6月6日（金）、那須町立那須中央中学校を支援し「マイチャレンジ」を那須塩原市鳴内山において実施した。「マイチャレンジ」（職業体験）とは、中学生が実際の職場にて3～5日間働くということとを体験し、働くことの意義を学ぶことにより、自身の将来像の形成や様々な職業に対する理解を目的とした体験プログラムである。マイチャレンジ最終日であったこの日は鳴内山にて約3キロの行進体験を実施した。実際の隊員が背負う重さと紹介され約15キロの背嚢を背負った中学生たちはその重さに、「絶対に歩けない」と驚嘆の声をあげていた。1つの背嚢を参加者6名で順番に回し、完歩したのちはやり切った表情とともに互いを讃えあっていた。

参加者の1人は「人生で一番きつかった」と語るも「でもみんなで完歩できてとても充実感がある」とやり切った表情をしていた。また、行進後、ドローン偽装体験を実施するとともに、林内においてかくれんぼを順番に体験し、偽装の効果について体感できた。

大田原地域事務所は、「今後も、引き続き学校との連携及び信頼関係を強化し『地域密着型』の広報で邁進していく」としている。

那須中央中学「人命救助教育」を実施 ～ 身近な人の命を救う～



教育支援の様子



自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、6月11日（水）、那須町立那須中央中学校において、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）から衛生隊員2名の支援を受け、人命救助教育支援を行った。今回の「人命救助教育」では、校長先生をはじめとする教職員及び保護者の約20名に対し、訓練用のAEDや人形を用いた心肺蘇生法の教育を行った。

那須中央中学校では昨年度も、生徒を対象とした防災教育を実施したが、今回はより暑くなってくる中、熱中症やプール授業での事故が発生する危険性を鑑み、より専門的な知識を持つ衛生隊員が主体となって教育を実施した。

2人1組でペアを作り、1組に1人衛生隊員がつきつきりて指導し、胸骨圧迫のやり方やAEDの操作方法などをわかりやすく指導していた。教育終了後の意見交換の場では「何回やっても（細かい手順を）忘れてしまうのでこういった形で定期的に実施していくことが重要」という意見に賛同の意見が多く出たのが印象的だった。

大田原地域事務所は、「今後も、引き続き多くの学校との連携及び信頼関係を強化し、『地域密着型』の広報で邁進していく」としている。

アシコタウンあしかがキッズフェスティバルで広報展！ ～ 地域住民へ自衛隊の魅力を発信！～



自衛隊説明



車両展示

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 後藤2陸尉）は6月22日（日）、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、栃木県足利市内にある商業施設アシコタウンあしかがで実施された「アシコタウンあしかがキッズフェスティバル」において広報展を出展した。

このイベントではふわふわ遊具無料開放、キッチンカー出店及びハンドメイド雑貨店などが出店され、晴天で風も少なく、6月としては珍しい猛暑の中であつたが、多くの来場者で賑わった。

広報展では、軽装甲機動車、偵察用オートバイ及び1/2トトラックの展示に、来場者からは「迫力ありますねーすごい！カッコイイ！」などの驚きの声があがった。また、砕氷艦「しらせ」からの南極の氷の展示に夢中になって、触ったり、氷の音を聞いたりしている子供たちの姿も見られた。

足利地域事務所は「今後も、地域の皆様イベントを楽しんでもらうとともに、自衛隊の魅力を伝えていく」としている。